



RE:プログラム

り・プログラム いじめをちょっとでもなくしたいプログラム

「RE:プログラム いじめをちょっとでもなくしたいプログラム」とは

2013年に survival13 実行委員会が、中学生へのいじめの防止プログラムとして作成したワークショップ（参加体験型）です。RE という表記には Rights<権利> Resilience<回復、弾力性> Respect<尊重> Empowerment<エンパワメント> Emotion<感情>などの意味を含めています。また、RE:には返信、応答するという意味もあり、プログラムを受けた中学生と何かしら気持ちの通うところがあればと願いを含めたプログラム名になっています。



視点

個人の
“ところ”の問題
だけでなく、
構造「しくみ」
として、
いじめ問題を考えます。

子どもたちには
幸せに生きる権利
があります。
いじめは、
その大切な権利を
奪うものだという
人権教育の視点にたった
プログラムです。

被害者にだけ
焦点をあてるのではなく、
加害者、クラスのありかたに問
いかけ、
いじめに対して、
一緒に何ができるかを
考えます。

内容

1 時限め

- ・「人権」「権利」「多様性」「不当な扱い」「感情」、特に怒りの扱いについて考えます。
- ・ひとりひとり多様であり、かけがえのない存在であることを考えます。

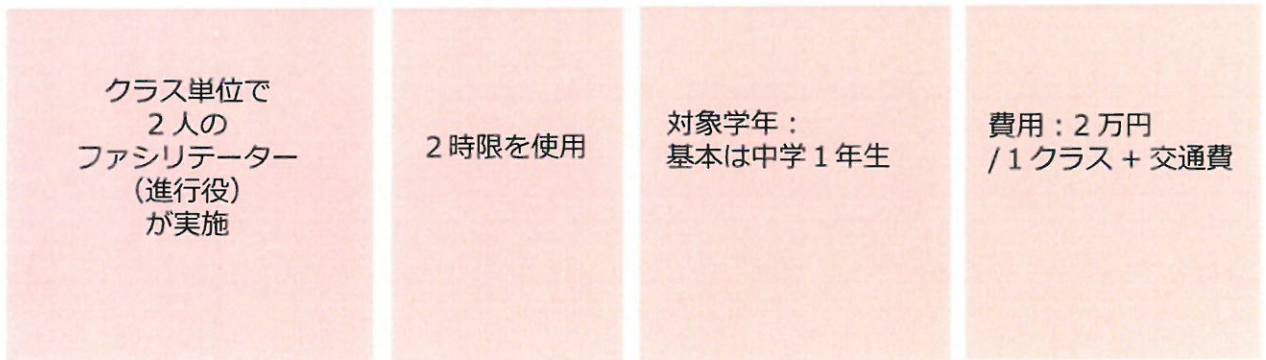
2 時限め

- ・不当な扱いが連鎖し、それが教室の中の構造的な「いじめ」につながることを取り上げます。
- ・その時（暴力の連鎖）に、当事者だけでなく教室そのものがなくすもの、そして、何ができるかを考えます。

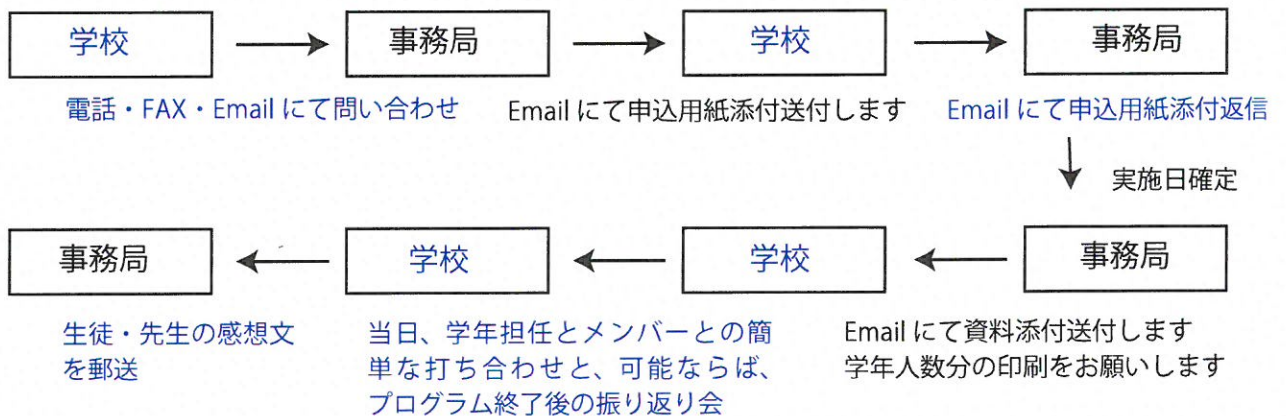
感想

生徒	教職員
<ul style="list-style-type: none"> ・感情についてよかった。怒っていいことがわかった。 ・毒消しが為になった。 ・おんなのくせにがいや。 ・サバイバル手帳がよかった。役に立つ。 ・チェーンメールの墓場が知れてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イライラしている時に、人にあたってしまう生徒が多かったので、とてもタイムリーな授業でよかったです。毒消しの方法などを探し出すことで、今後自分はどうすればよいかわかったのではないかと思います。今後のクラス作りに役立てたいです。

実施体制



実施までの流れ



問い合わせ

survival13(さばいばる じゅうさん) 実行委員会
 NPO 法人えんぱわめんと堺 / ES・NPO 法人 KARALIN・NPO 法人 SEAN
 Facilitator's LABO <えふらぼ>・じんけん楽習塾・一般財団法人八尾市人権協会



一般財団法人 八尾市人権協会内 survival13 実行委員会事務局
 TEL 072-924-9853 FAX 072-924-0134 Email oyaoya@oyaoya.org
 〒581-0004 八尾市東本町 3-9-19-312